

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

<第19週> マイコプラズマ肺炎 - 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5

<コレラ> 第19週には、インドネシア・バリ島を推定感染地域とする7例の報告があった



病原体情報
P.6-7

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年と2005年 / インフルエンザウイルス 2005年第16週以降



速報
P.8

仙台市におけるインフルエンザ発生状況



海外感染症情報
P.9-10

アンゴラでのマールブルグ病流行 / コンゴ共和国でエボラ出血熱発生 / インドにおける髄膜炎菌性疾患 / セネガルにおけるコレラ流行



感染症の話
P.11-13

<カンピロバクター感染症>
*C. jejuni*が主な病原体であり、近年欧米諸国と同様、我が国においても発症例は増加傾向にある



読者のコーナー
<今週は該当記事はありません>



グラフ総覧(19週)
P.14-20



19週のデータ
P.21-32



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第19週コメント > 5月19日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

1類感染症: 報告なし

2類感染症: コレラ 7例(推定感染地域: すべてインドネシア)

細菌性赤痢 16例(推定感染地域: 国内1例、インド4例、インドネシア2例、カンボジア2例、エジプト2例、タイ1例、ネパール1例、 Bangladesh 1例、ケニア1例、不明1例)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 23例(うち有症者19例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(9例)、O157 VT1(1例)、O26 VT1(1例)、O157 VT2(7例)、その他(5例)

年齢: 10歳未満(9例)、10代(5例)、20代(2例)、30代(3例)、60代(3例)、70歳以上(1例)

4類感染症: エキノコックス症 1例(多包条虫)

オウム病 1例(推定感染源: インコ)

つつが虫病 8例(福島県3例、山形県2例、新潟県2例、長野県1例)

マラリア 1例(三日熱_推定感染地域: インド)

レジオネラ症 4例(60代2例、70代1例、80代1例)

A型肝炎 1例(推定感染地域: 国内)

5類感染症: アメーバ赤痢 5例

推定感染地域: 国内4例、フランス1例

推定感染経路: 経口2例、性的接触(異性間/同性間)1例、不明2例

ウイルス性肝炎 2例

B型1例(推定感染経路: 不明)

C型1例(推定感染経路: 刺青)

後天性免疫不全症候群 8例(無症候5例、AIDS 3例)

推定感染経路: すべて性的接触(同性間6例、異性間2例)

推定感染地域: 国内7例、不明1例

ジアルジア症 1例(推定感染地域: インド)

梅毒 6例(早期顕症 期2例、早期顕症 期1例、無症候3例)

破傷風 1例(50代)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例

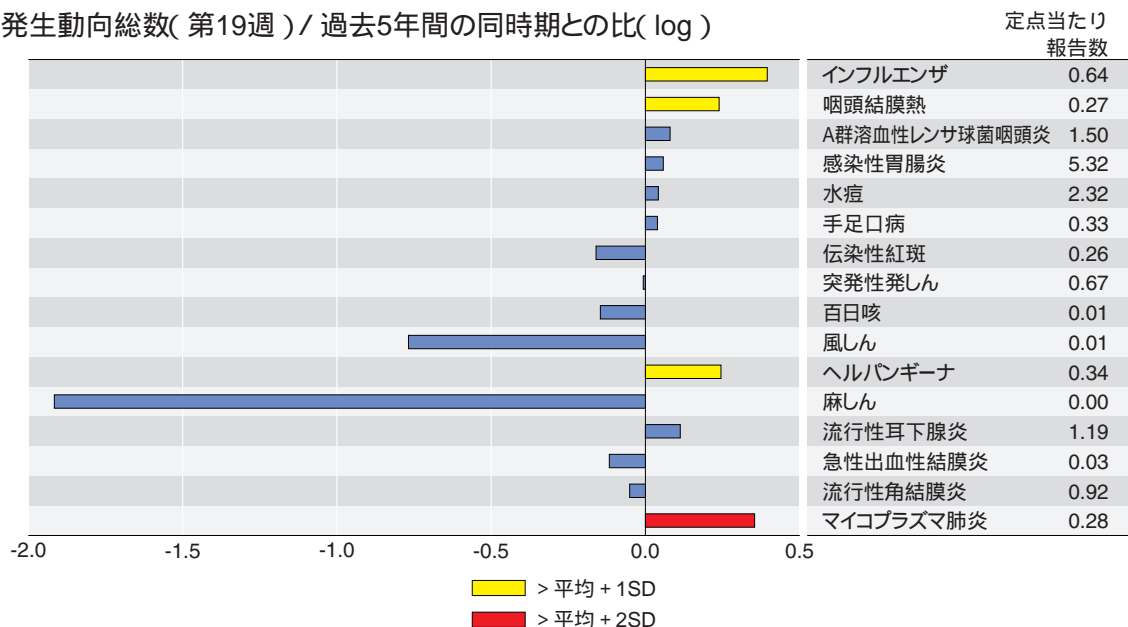
(ともに遺伝子型: VanA_菌検出検体: 尿)

(補)報告遅れとして、E型肝炎1例(推定感染地域: 国内、推定感染源: 不明)、急性脳炎1例(インフルエンザウイルスA型、2歳)の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第19週)/過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

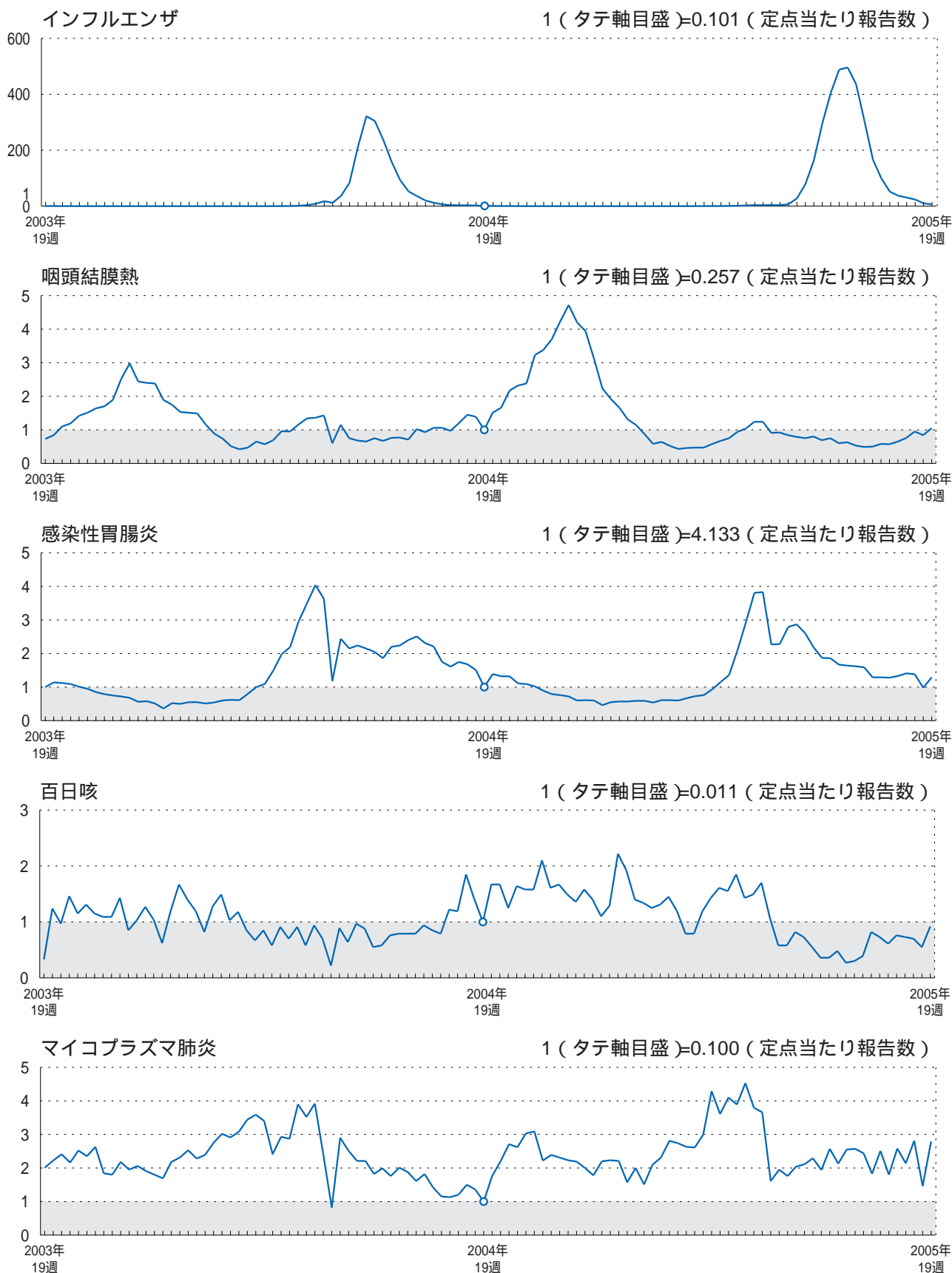
インフルエンザ定点報告疾患：定点当たり報告数は減少した。過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い状態であるが、2005年第2週以降、18週ぶりに1.0を下回った。都道府県別では鳥取県(4.3)、島根県(2.8)、広島県(2.5)と、中国地方の3県が多い。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、2005年第1週以降では最高値となったが、過去5年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では福井県(0.86)、山口県(0.69)、石川県(0.62)、岐阜県(0.62)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山形県(4.0)、新潟県(3.2)、北海道(2.9)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(12.9)、新潟県(11.5)、大分県(10.5)、鳥取県(9.2)が多い。水痘の定点当たり報告数は大きく増加した。都道府県別では新潟県(3.9)、富山県(3.9)、福島県(3.5)、山形県(3.2)が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(6.53)、広島県(1.05)、愛媛県(1.00)が多く、特に沖縄県では、本島を中心に報告数の増加が続いている。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福岡県(0.85)、鹿児島県(0.70)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(0.09)、栃木県(0.07)、香川県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では和歌山県(0.06)、青森県(0.02)、千葉県(0.02)、神奈川県(0.02)、岡山県(0.02)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降、増加が続き、過去5年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では愛媛県(2.2)、高知県(1.8)、佐賀県(1.5)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では石川県(0.03)、沖縄県(0.03)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続して増加した。都道府県別では福井県(5.0)、石川県(3.6)、熊本県(2.8)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて33都道府県から33例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下が全体の67%を占めている。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では岡山県(1.8)、山形県(1.6)、山口県(1.4)、福島県(1.3)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第19週)

2004年第19週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





注目すべき感染症

コレラ

コレラは、1～5日(通常1日以内)の潜伏期の後に、下痢や嘔吐で急激に発症する腸管感染症である。ほとんどの場合、腹痛や発熱はみられない。典型的には激しい水様性下痢(重症では“米のとぎ汁様”)と、これに伴う脱水を生じるが、近年の報告症例では軽症であることが多い。しかし、胃腸の弱い人(胃切除者や胃酸が低下している人)や高齢者、乳幼児では重症化して死亡することもあり、油断できない疾患である。感染症法では2類感染症として疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の報告が義務づけられており、また、検疫法で規定される感染症でもある。

1999年4月の感染症法施行以降のコレラの年間累積報告数は、1999年39例、2000年58例、2001年50例、2002年51例、2003年25例、2004年82例(2005年1月20日現在)である。本年(2005年)の報告数は、第19週(5月19日集計)までで20例であるが、第19週には7例の報告がみられた。これら7例の推定感染地域はすべて、インドネシアのバリ島であり(図)、男性6例、女性1例で、年齢群では30代3例、40代1例、60代3例(年齢中央値42歳)であった。また、無症状病原体保有者1例を除く6例の発病日は、5月6～12日であった。検出された菌は、全例が血清型O1で生物型はエルトル小川であった。

2004年に推定感染地域が国外として報告されたコレラ65例の推定感染国は、フィリピン33例、インド21例、タイ7例、中国3例、インド/中国1例であり、インドネシアはなかった。しかし、1995年にはバリ島観光ツアー帰国者の間で、1年間に296人(患者278人、および無症状病原体保有者18人、37都道府県)に及ぶ爆発的なコレラの発生を経験しており、今後の発生動向には注意が必要である。

アジア、アフリカ諸国などの熱帯・亜熱帯諸国をはじめとするコレラ流行地域へ渡航する場合には、常に生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。

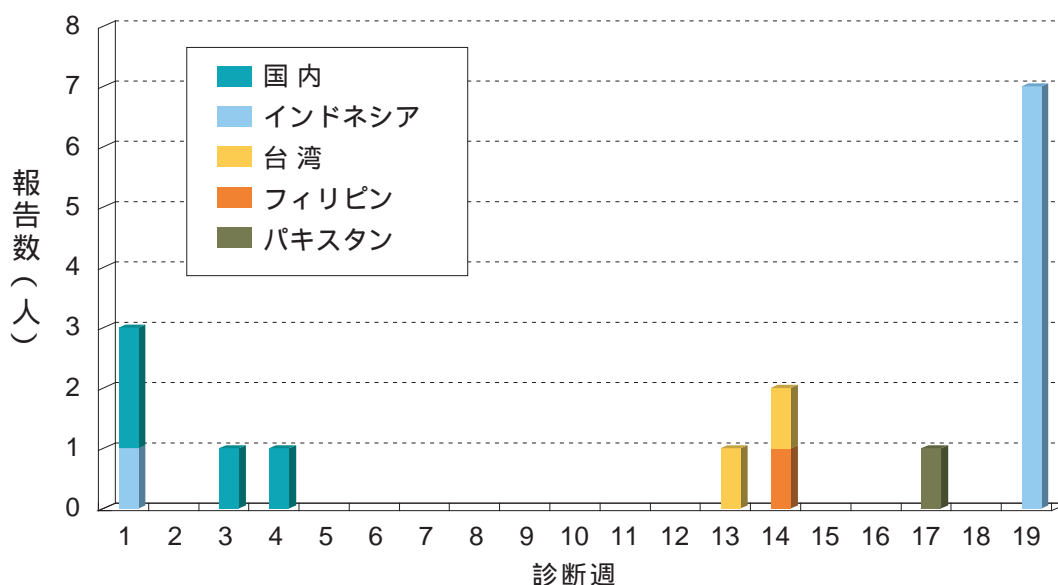


図 コレラの週別推定感染国別報告数(2005年第1～19週, N=16)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

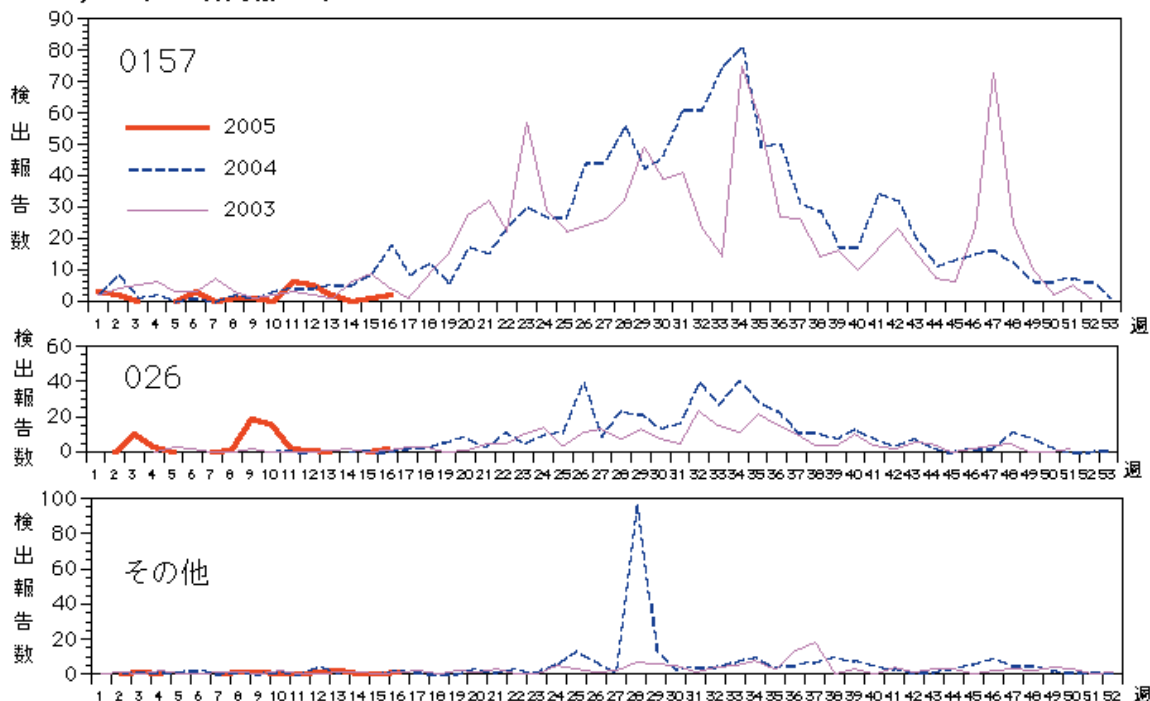
(2005年5月20日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年と2005年

2004年の検出総数は1,804件で、うちO157が1,111件、O26が425件、その他の血清型が268件報告されている。その他の血清型では、第28週をピークにO111が石川県の集団発生事例から149件報告されている。

2005年の検出総数は87件で、O26が54件、O157が26件、その他の血清型が7件報告されている。O26は第3週に島根県、第9～10週に宮城県からそれぞれ保育所集団発生事例が報告されており、O157は第11～13週に熊本県から飲食店での集団発生事例が報告されている。

O157,O26週別検出報告数、年別比較 2003～2005年 (病原微生物検出情報: 2005年5月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

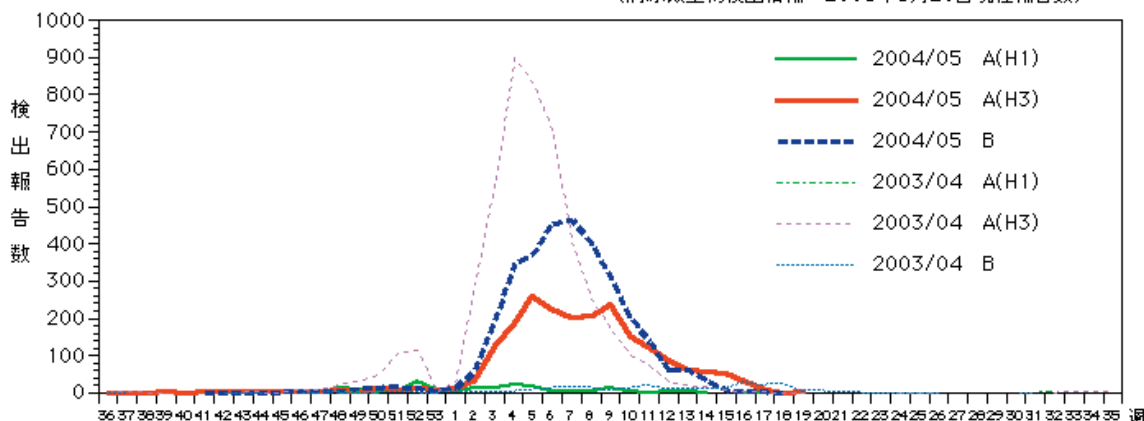


インフルエンザウイルス 2005年第16週(4/18 ~)以降

今シーズンはB型が主流となったが、第12週以降AH3型の報告数がB型の報告数を上回っており、集団発生からの報告もある。第16~19週までの報告数はAH3型が32、8、0、3、計43件、B型が6、3、1、0、計10件である。AH3型は第19週に秋田県と島根県、B型は第18週に山形県から報告されている。AH1型も第17週に京都府から1件報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離 - 検出報告数の推移、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報：2005年5月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



仙台市におけるインフルエンザ発生状況

インフルエンザ患者発生状況

2004/05シーズンの仙台市におけるインフルエンザ患者報告数は、2004年第50週より増加し始め、第9週にピークに達した後、減少に転じた。ピークの到来は過去5年間で最も遅く、また、ピーク時の患者報告数は2,468人と、過去5年間で最高を記録した。

インフルエンザウイルス分離状況

市内5カ所の医療機関(病原体定点)で採取された咽頭ぬぐい液をMDCK細胞に接種して、CPEを観察した。CPEが確認された培養液について、0.75%モルモット赤血球を用いてHA価を測定後、国立感染症研究所より分与された2004/05シーズン用インフルエンザウイルス同定キットを用いてHI試験を行った。4月末までに、AH1型が24株、AH3型が80株、B型が125株(すべて山形系統株)分離されている。B型インフルエンザウイルスの分離数は2月初旬以降、著しく増加し、今シーズンの流行の中心を占めていたものと思われる。また、AH1型が分離されたのは、2001/02シーズン以来3シーズンぶりである。

AH3型インフルエンザウイルス分離保存株の抗原性解析

過去5シーズン(2000/01～2004/05シーズン)に分離されたAH3型インフルエンザウイルスの保存株(各シーズン4株)について、デンカ生研製ワクチン株抗血清A/Panama/2007/99およびA/Wyoming/3/2003を用いたHI試験を行った。A/Panama/2007/99株抗血清(ホモHI価1,280)に対しては、2000/01～2001/02シーズンの分離株のHI価は640～1,280であったのに対し、2002/03シーズン以降の分離株は20～320と著しく低下した。一方、A/Wyoming/3/2003株抗血清(ホモHI価320)に対しては、各シーズンの分離株は160～640のHI価を有しており、大きな変動は認められなかった。

AH3型インフルエンザウイルス分離保存株の遺伝子解析

前述の20株からRNAを抽出し、RT-PCRによりHA遺伝子を増幅後、PCRプロダクトを用いたダイレクトシーケンスにより、HA領域の一部の塩基配列(921bp)を決定し、分子系統樹解析を行った。今回検討した20株は2002/03シーズンを境に、大きく2つの群にわかれた。2000/01～2001/02シーズンの分離株はA/Panama/2007/99株と99%以上の相同性を有していたが、2002/03シーズン以降の分離株はA/Wyoming/3/2003株との相同性の方が高かった(99.4～98.2%)。

2004/05シーズンの分離株は、1株が2005/06シーズンワクチン株としてWHOが推奨しているA/California/7/2004類似株であったのに対し、3株は同株と921bp中18～19bp異なる別のクラスターを形成していた。また、アミノ酸配列においても、307カ所中12カ所で置換が認められた。この3株はA/Wyoming/3/2003株に対しても、ほぼ同様の解析結果を示した。

今シーズンに仙台市内で分離されたAH3型インフルエンザウイルスのHA遺伝子を解析した結果、現在のワクチン株A/Wyoming/3/2003から大きく分枝した株が認められたことから、今後の動向を注意深く監視していく必要があると考えられる。

仙台市衛生研究所微生物課ウイルス係

勝見正道 橋本 渉 関根雅夫 小黒美舎子 熊谷正憲 吉田菊喜

(IASR2005年6月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

アンゴラでのマールブルグ病流行 - 更新

WHO/CSR 2005年5月18日

2005年5月17日現在、アンゴラ保健省は337名のマールブルグ病患者を報告した。このうち311名が死亡している。患者の大部分がUige州から発生しており、同州では患者326名と死亡者300名が報告されている。Uige州以外からの患者報告は過去5週間みられていない。

流行制圧のためのインフラストラクチャーとプロトコールが実施され、有効に機能している。Uige州立病院隔離室が使用されており、同病院での感染制御対策は改善され、安全な埋葬法が実施されている。移動検査設備により、迅速診断が可能となっている。安全でない注射器を使用した患者の在宅治療を中止するよう呼びかけるキャンペーンにより、大量の注射針とシリンジの回収、安全な廃棄が行われた。このキャンペーンは、宗教および地域指導者らと地域赤十字ボランティアに支援を受けているが、民衆における感染リスクの認知度を著しく向上させたと思われる。

宗教および地域指導者らによる支援により、移動サーベイランスチームがより円滑に活動を行うことができるようになり、患者発見や接触者追跡を容易にした。しかしながら、家庭内曝露や埋葬時曝露による新規患者発生が続いていることから、住民のマールブルグ病に関する認識をさらに向上させる必要が示された。

ウイルスの感染伝播には、患者や最近死亡した患者との濃厚接触が必要であり、アンゴラへの渡航者のリスクは比較的低いと思われる。WHOはアンゴラへの、またはアンゴラからの渡航や貿易は何ら制限していない。

コンゴ共和国でエボラ出血熱発生

WHO/CSR 2005年5月18日

2005年5月17日現在、Cuvette Ouest地域Etoumbi地区とMbomo地区において、9名の死亡者を含む総計11名(検査診断1名と疫学的接触者10例)が報告された。ガボンの国際フランスビル医学研究センター(CIRMF)と開発研究センター(IRD)において、1検体でエボラ出血熱であることが確認された。

Etoumbi地区(68名)とMbomo地区(13名)で、総計81名の接触者が医学的監視下にある。

保健省、WHOアフリカ支局(AFRO)、国境なき医師団オランダ(MSFオランダ)が現地に滞在し、サーベイランス、接触者の追跡調査、当該地域の住民に対する疾患啓発活動を実施している。

国境なき医師団(MSF)ニュース 2005年5月20日

WHO検査室による検査室診断により、コンゴ共和国の首都ブラザビルの北方Cuvette Ouest地域Mbomo地区とEtoumbi地区において、エボラ出血熱の流行が確定された。現在、これは大規模な流行ではなく、地域当局はこの流行を十分に管理できている。現在までに、11名の疑い患者と9名の死亡者が報告されている。最後の死亡者は2日前に死亡しており、ここ1週間新規患者は発生していない。状況は制圧されているようである。国境なき医師団(MSF)は今週初め、Etoumbi地区に医師団を派遣した。MSFの主な役割はアドバイスすることであり、保健省が患者を隔離するのを支援促進し、患者看護を実施する赤十字職員を訓練している。

感染患者による“外部世界”での最後の既知の接触の可能性は、2005年5月14日であることが突きとめられた。これにより新規患者が発生する可能性があり、その可能性は来る10日間が最も高く、そのためMSFは、少なくともこの期間は現地に留まる予定である。

インドにおける髄膜炎菌性疾患

WHO/CSR 2005年5月17日

2005年5月16日現在、デリーにて、303名の髄膜炎菌性疾患患者と26名の死亡者が報告された。患者の大部分と死亡者全員は、年齢16歳から30歳の若年層に集中している。国立感染症研究所(NICD)は患者18名から採取された髄液から、髄膜炎菌血清型A群を分離した。ほとんどの患者は、城壁都市オールドデリーとShahdara地区から発生している。

セネガルにおけるコレラ流行

WHO/CSR 2005年5月13日

2005年5月2～8日の週に、セネガル保健省は総計509名のコレラ患者と6名の死亡者を報告した(致死率1.2%)。流行が最も深刻な地域は依然Diourbelであり、患者288名と死亡者2名が報告されている。2週間前は1日平均33名の患者が報告されていたのに比較し、現在は1日平均10名と、Touba市の患者数は減少していると報告されている。保健省は予防と対応のために、保健メッセージの配布、医療資材の備蓄、安全かつ十分な量の水供給の確保などを実施している。



感染症の話

カンピロバクター感染症

カンピロバクター属菌は2004年現在、17菌種6亜種3生物型から構成されている。ヒトのカンピロバクター感染症は胃腸炎症状を主たる臨床像とし、その原因菌の95～99%は *Campylobacter jejuni* subsp. *jejuni*(以下 *C. jejuni*)で、*C. coli*は数%に止まる。また、敗血症や髄膜炎、膿瘍などの検査材料から分離されるカンピロバクターは *C. fetus* subsp. *fetus*であることが多い。カンピロバクター感染症は *C. jejuni*腸炎、または *C. jejuni*食中毒とほぼ同義語と考えてよく、ここではその周辺に焦点をあてて概説する。

疫学

*C. jejuni*は *C. coli*と共に1982年、食中毒起因菌に指定されて以来、食中毒事例数においてサルモネラ、腸炎ビブリオ、黄色ブドウ球菌に次ぐ発生頻度を示している。しかし、*C. coli*による集団食中毒事例は極めて少ない。*C. jejuni*食中毒は欧米諸国と同様、近年我が国においても増加傾向にあり、厚生省(当時)の食品衛生調査会食中毒部会(平成12年2月25日)でもその対策が急務である旨、提言がなされている。全国における本食中毒の年間事例数(1996年以降は患者数2名以上)は、厚生労働省食中毒統計によると、1995～1996年では20～46件であったが、1997年頃より増加傾向を示し、2003年には150件にも達している(表)。学校施設内および学外行事などでの大規模食中毒事例が減少し、飲食店などを原因施設とした小規模事例の占める割合が急増してきたため、患者数の大幅な増加はなく、1,300～2,500人前後を推移している。一方、散发例での本菌食中毒発生状況をみると、患者は女性より男性に多く、年齢層では10～20代にピークが認められている。成人散发例での本菌検出率は10%前後であり、小児では約15～25%で腸炎原因菌の第1位を占めているが、受診当初は感冒と診断されることも多く、実際の患者数はかなりの数に上るものと推察される。また、入院症例も10歳以下の低年齢層に多い(感染性腸炎研究会資料)。

一般に、細菌性食中毒は夏季に多発し、冬季に減少するが、本食中毒においては様相を異にして、その発生は5～6月に多く、7～8月はやや減少、再び9～10月頃に上昇傾向を示している。しかし、東京都内では1999年以降、冬季の発生が著しく増加している。

*C. jejuni*食中毒発生時における感染源の特定は極めて困難である。それは少量感染(500～800個/ヒト)が成立すること、潜伏期間が比較的長いこと(2～5日)に加えて、通常の大気条件下では本菌が急速に死滅する生理学的特徴に起因する。しかし、患者並びに推定原因施設等の疫学調査結果からは、鶏肉調理食品の喫食、及びその調理過程の不備が原因であったことが強く示唆されている。欧米では生牛乳による事例もあるが、我が国では加熱殺菌乳が流通しており、同様な事例はみられていない。この他、井水、湧水および簡易水道水を感染源とした水系感染事例が、我が国では少なくとも12例確認されており、その原因の大部分は不十分な消毒であった。

表 カンピロバクター食中毒の事件数および患者数：全国

年	事件数*	患者数
1995	20	1,493
1996	46	1,538
1997	73	2,464
1998	63	1,624
1999	77	1,386
2000	88	1,325
2001	106	1,558
2002	120	1,825
2003	150	2,301

*1996年以降は、患者数2名以上の事件数

(厚生労働省食中毒統計)

病原体

*C. jejuni*は長さ0.5 ~ 5 μm 、幅0.2 ~ 0.4 μm のグラム陰性らせん状桿菌である。両極にそれぞれ1本の鞭毛を持ち、所謂コルクスクリュー様の独特な運動を活発にする(写真)。本菌の発育には微好気条件(酸素濃度:5 ~ 10%)が必須で、発育温度域は34 ~ 43、炭水化物は好気・嫌気的にも利用できず、NaCl濃度0.5%前後を至適とした好塩性を有する。本菌はウシ、ヒツジ、野鳥及びニワトリなど家禽類の腸管内に広く常在菌として保菌されており、*C. coli*はブタでの保菌率が極めて高いことを特徴とする。



写真 *Campylobacter jejuni* の電子顕微鏡像

臨床症状

症状は下痢、腹痛、発熱、悪心、嘔吐、頭痛、悪寒、倦怠感などであり、他の感染型細菌性食中毒と酷似するが、潜伏期間が一般に2 ~ 5日間とやや長いことが特徴である。感染性腸炎研究会資料によると、入院患者の98%に下痢が認められ、その便性状は水様便(87%)、血便(44%)、粘液便(24%)である。特に粘血便がみられる場合は、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌、腸炎ビブリオ、サルモネラ等による腸炎との鑑別を要する。下痢は1日に10回以上に及ぶこともあるが、通常2 ~ 6回で1 ~ 3日間続き、重症例では大量の水様性下痢のために、急速に脱水症状を呈する。また、腹痛は87%、嘔吐は38%にみられた。発熱時の平均体温は38.3で、サルモネラ症に比べるとやや低い。

病原診断

*C. jejuni*感染症の診断は臨床症状からは困難で、糞便等から本菌を分離することが最も確実である。培養は微好気培養により最低2日間(37 ~ 42)要する。本菌の同定には通常3 ~ 5日間程度必要であり、迅速性・正確性を期するために、PCR法等の遺伝子診断技術が必要不可欠となっている。

治療・予防

患者の多くは自然治癒し、予後も良好である場合が多く、特別治療を必要としないが、重篤な症状や敗血症などを呈した患者では、対症療法と共に適切な化学療法が必要である。第一選択薬剤としては、エリスロマイシン等のマクロライド系薬剤が推奨される。セフェム系薬剤に対しては自然耐性を示すため、治療効果は望めない。

ニューキノロン系薬剤に対しては近年耐性菌が増加しており、世界的な問題となっている。私共の調査においても、NFLX, OFLX, CPMX, NAの4剤に対する耐性株出現頻度は、調査開始時(1993 ~ 1994年)は15%程度であったが、1999年には28.7%、2000年29.5%と増加傾向を示し、その後2003年まで30%前後を推移している。従って本剤を使用する際は、このことを念頭に入れた処方が必要であろう。

本菌感染症の予防は、食品衛生の面からみると、他の細菌性食中毒起因菌と同様に、獣肉（特に家禽肉）調理時の十分な加熱処理、また、調理器具や手指などを介した生食野菜・サラダへの二次汚染防止に極力注意することである。また、本菌は乾燥条件では生残性が極めて低いことから、調理器具・器材の清潔、乾燥に心掛けることも重要である。一方、食品の嗜好面からは、生肉料理（トリ刺し、レバ刺し等）の喫食は避けるべきであろう。その他、イヌやネコ等のペットからの感染例も報告されており、接触する機会の多い幼児及び高齢者等に対して啓発を図ると共に、ペットの衛生的管理が必要である。

合併症

*C. jejuni*感染症の一般的な予後は、一部の免疫不全患者を除いて死亡例も無く、良好な経過をとる。しかし、近年本菌感染後1～3週間（中位数：10日間）を経てギラン・バレー症候群（GBS）を発症する事例が知られてきた。GBSはフィッシャー症候群など複数の亜型があるが、基本的には急性に四肢脱力を主徴とする、運動神経障害優位の自己免疫性末梢神経障害である。GBS患者の約30%では、GBS発症前1ヵ月以内に本菌感染症の罹患が認められており、その発症メカニズムの主因として、菌体表層の糖鎖構造と運動神経軸索に豊富に分布するガングリオシドとの分子相同性が指摘されている。GBSはこれまで予後良好な自己免疫疾患として捉えられていたが、*C. jejuni*感染症に後発するGBSは軸索型GBS（AMAN: acute motor axonal neuropathy）で重症化し易く、英国のデータでは発症1年後の時点においても、4割程度の患者に歩行困難などの種々の後遺症が残ると言われている。また、一部患者では呼吸筋麻痺が進行し、死亡例も確認されている。GBSの罹患率は諸外国でのデータでは、人口10万人当たり1～2人とされている。我が国での発生状況については報告システムがなく、実数は不明であるが、年間2,000人前後の患者発生があるものと推定されている。

*C. jejuni*感染症に後発するGBSは、これまで散発例として確認されてきた。しかし、1999年12月東京都において、*C. jejuni* 集団食中毒患者19名中、1名のGBS患者の発生が確認されたが、これは諸外国でもほとんど例がない。この事例は、GBS発症に*C. jejuni*感染症と患者の免疫学的背景とが関与していることを立証した、極めて貴重なものであった。

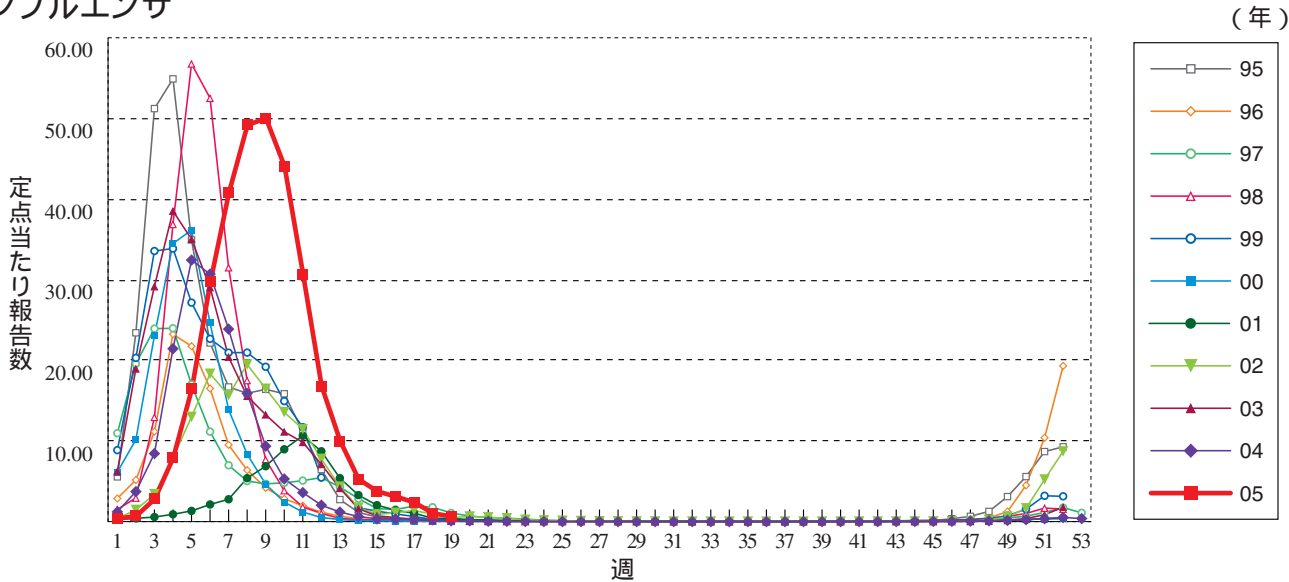
食品衛生法での取り扱い

本食中毒が疑われる時は、食品衛生法第58条に基づき24時間以内に保健所長に届ける。

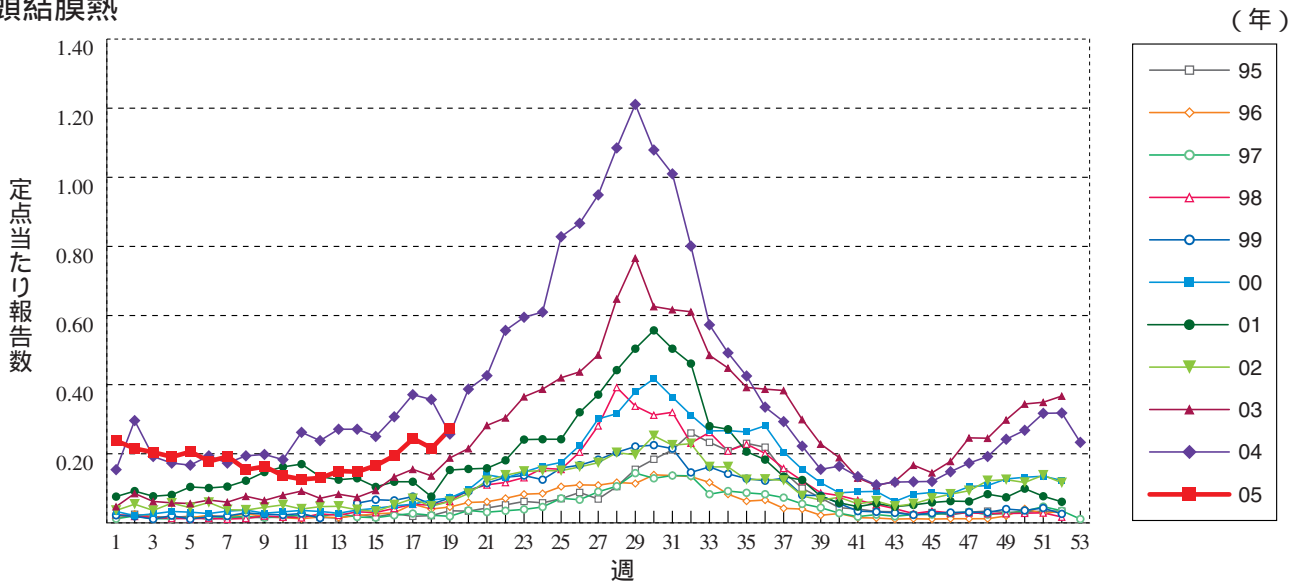
（東京都健康安全研究センター・微生物部 高橋 正樹 横山 敬子）

グラフ総覧(19週)

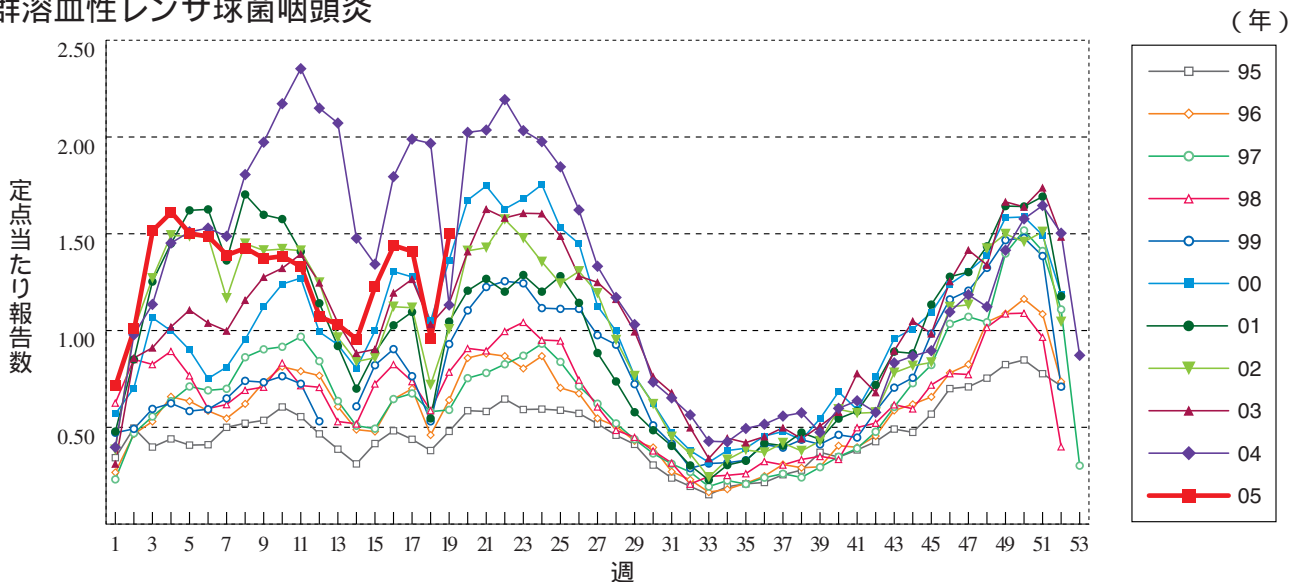
インフルエンザ



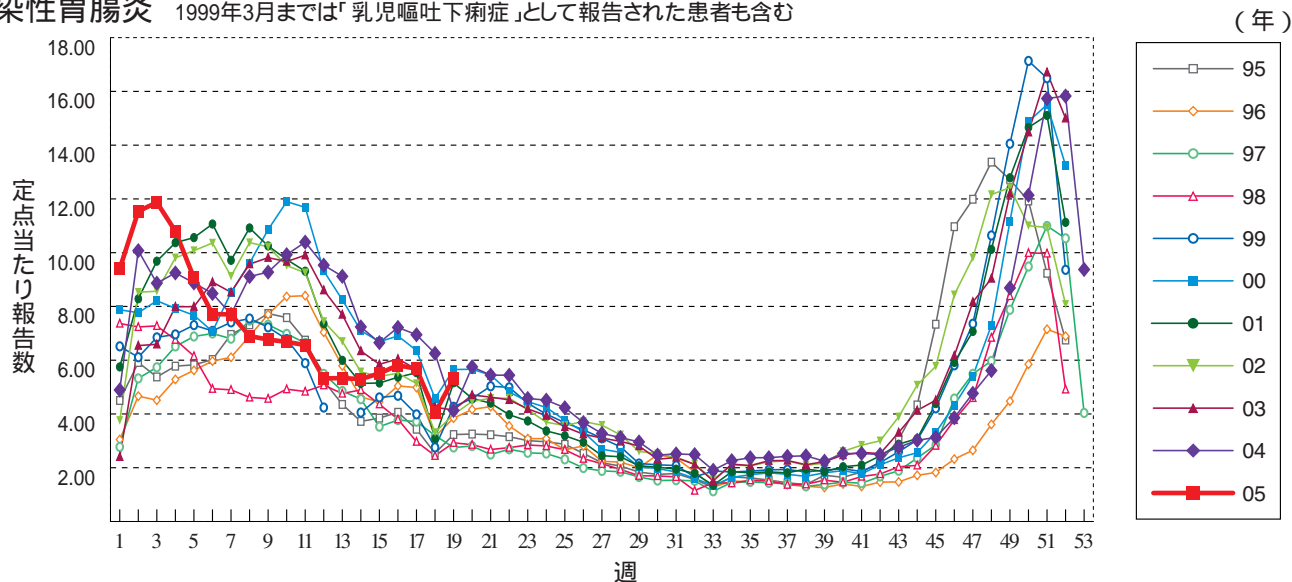
咽頭結膜熱



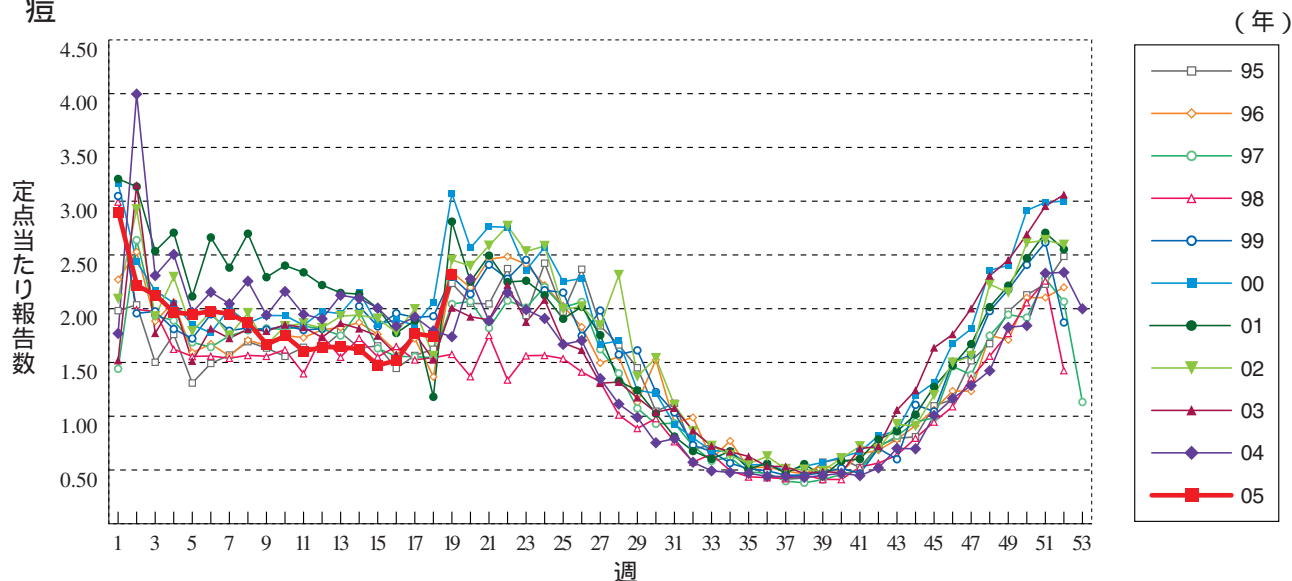
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



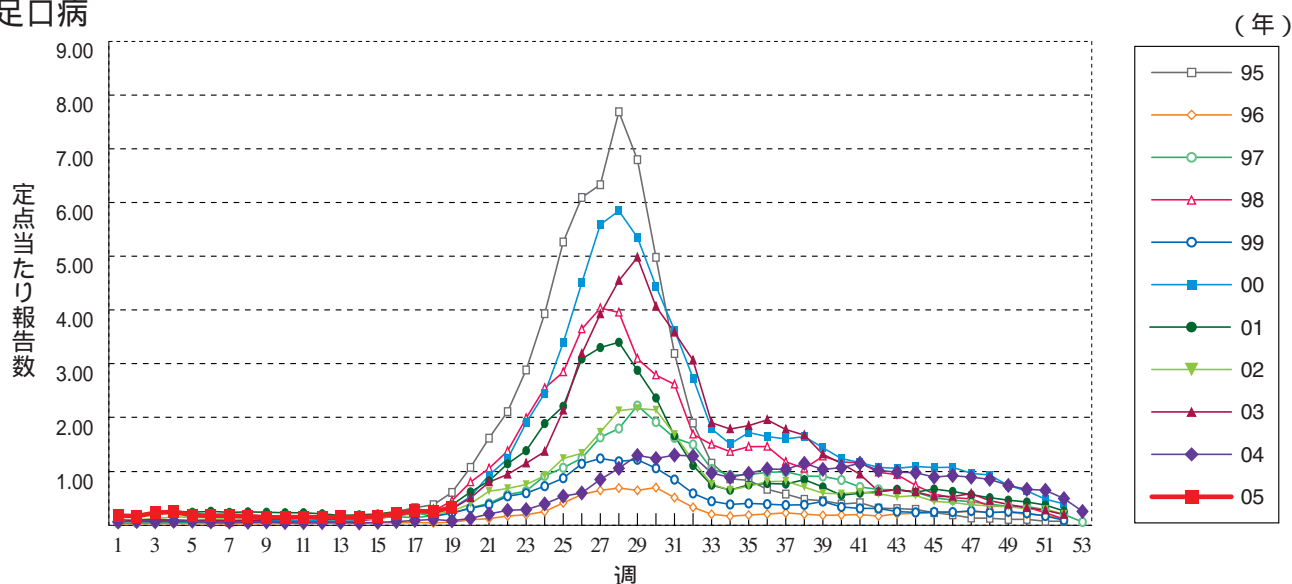
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



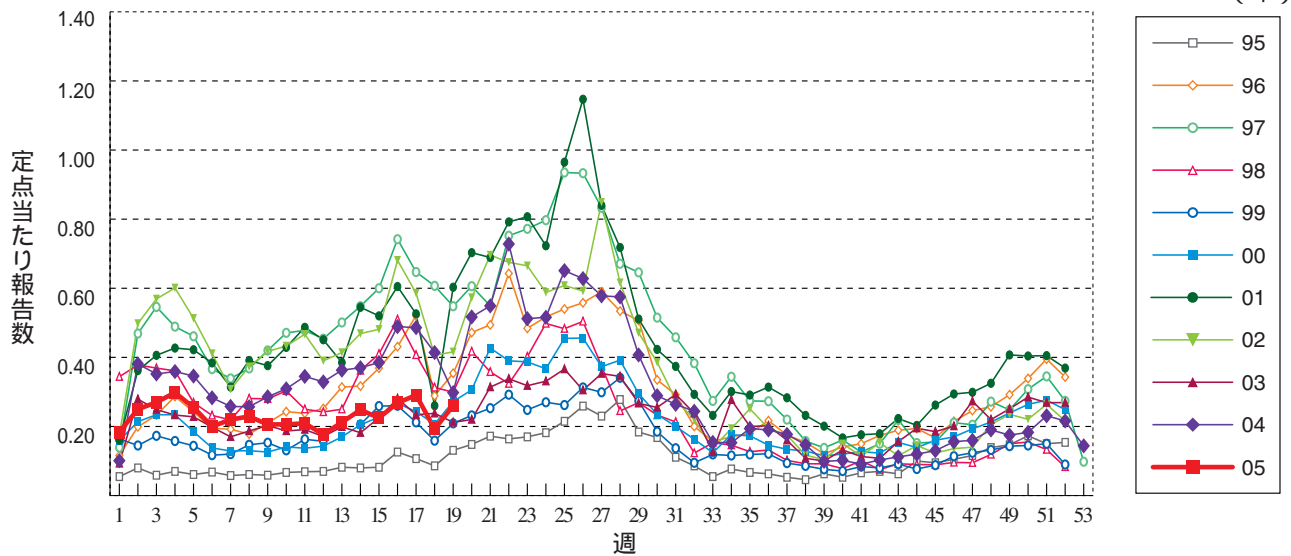
水痘



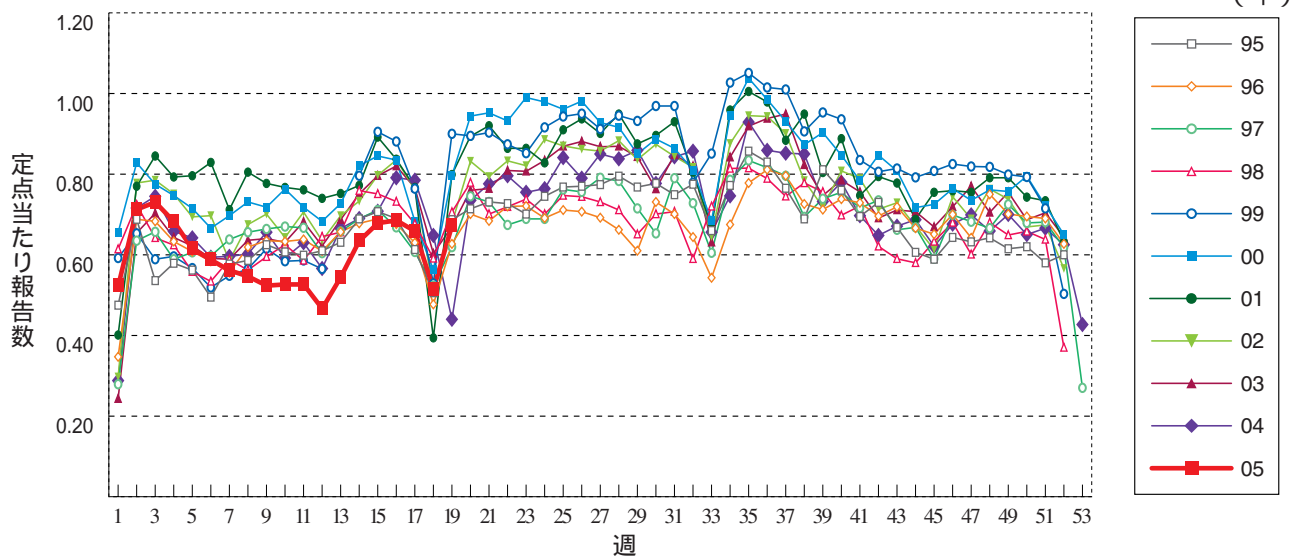
手足口病



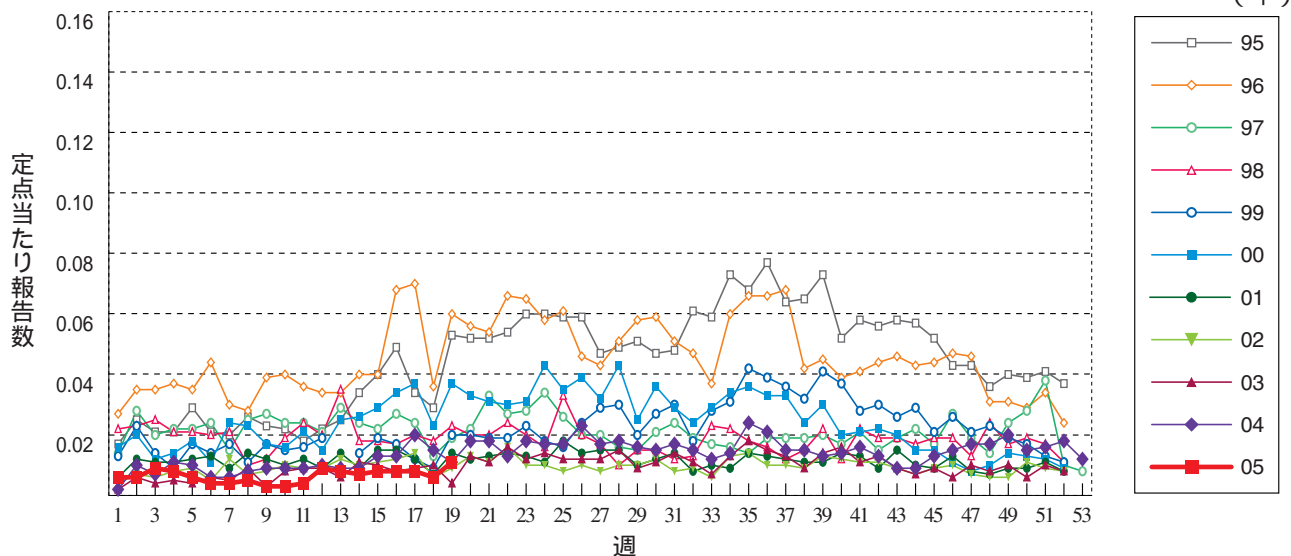
伝染性紅斑



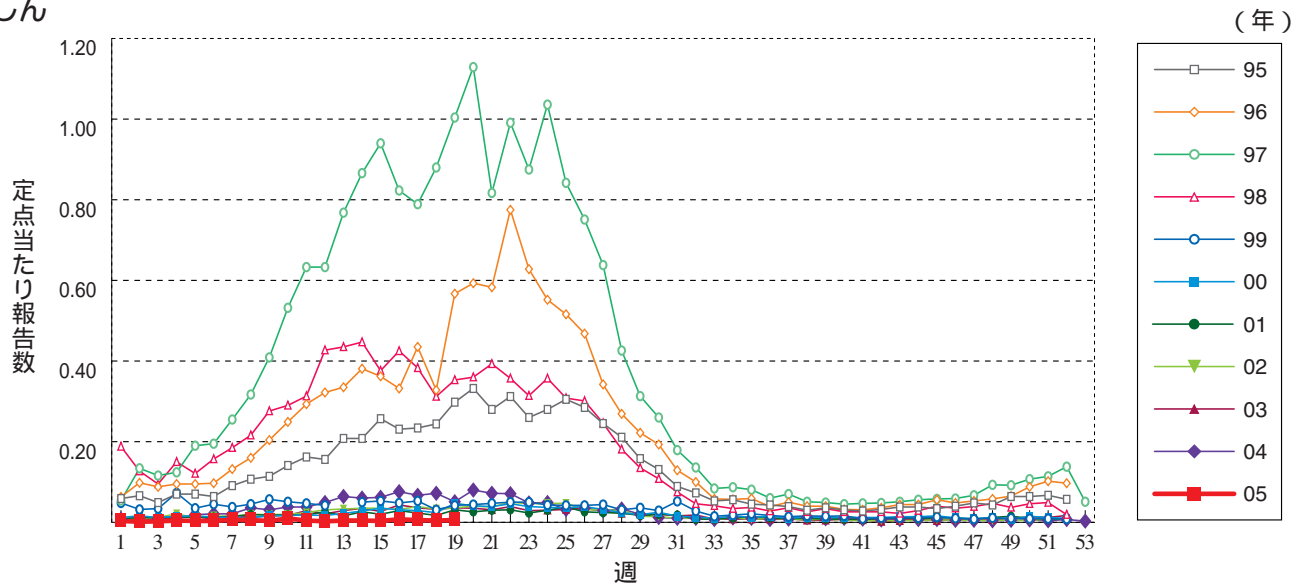
突発性発しん



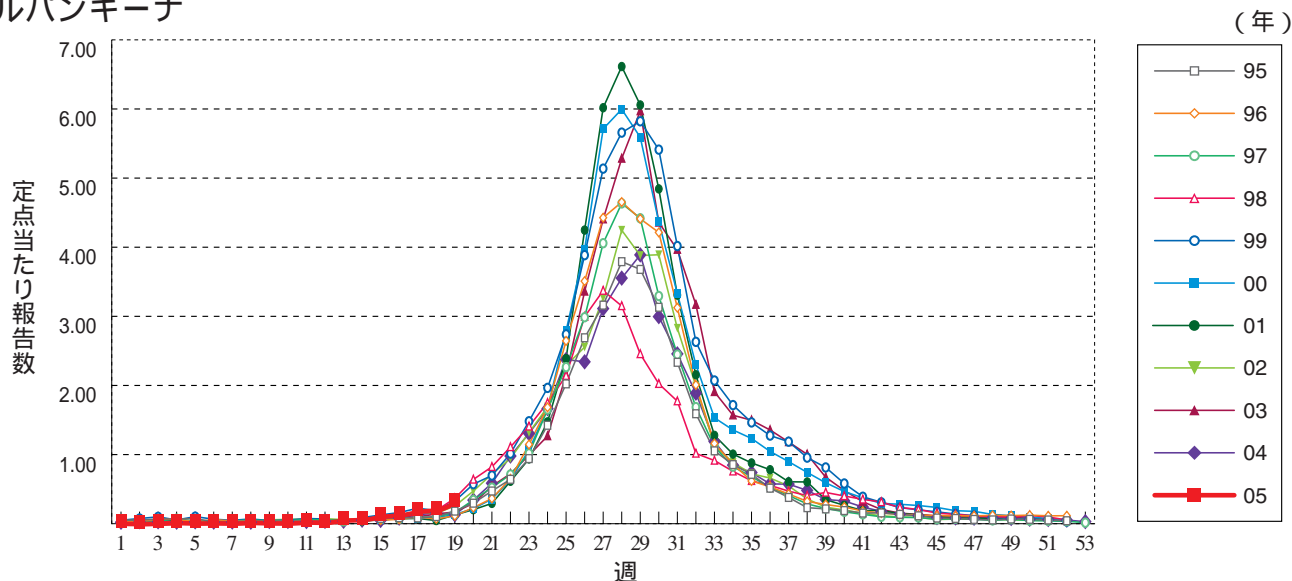
百日咳



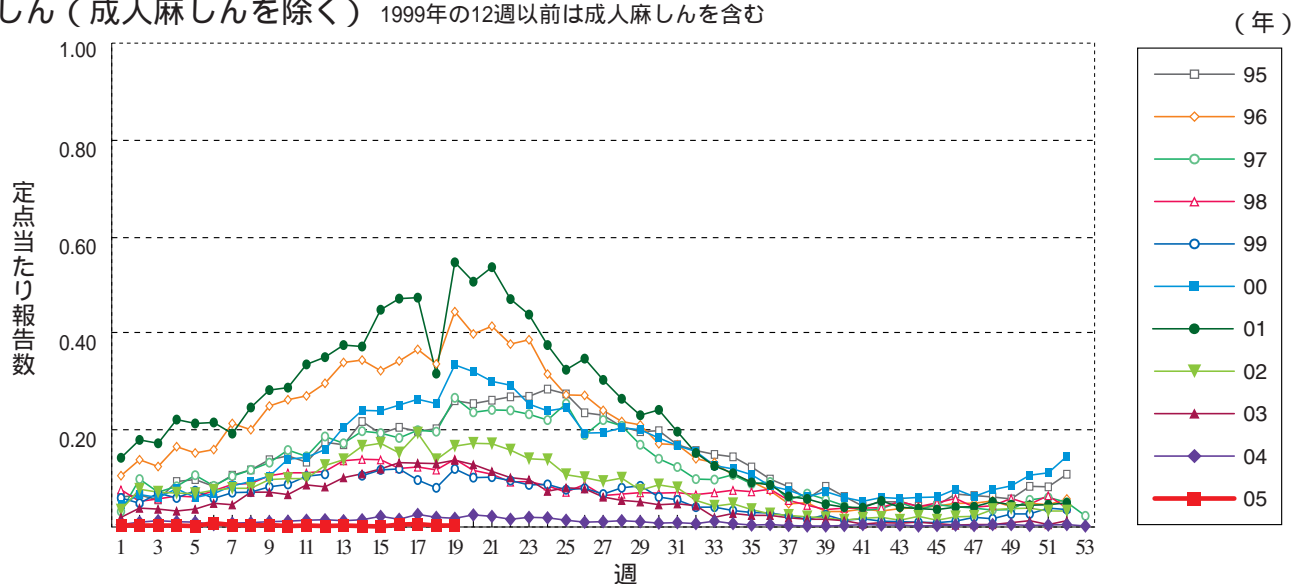
風しん



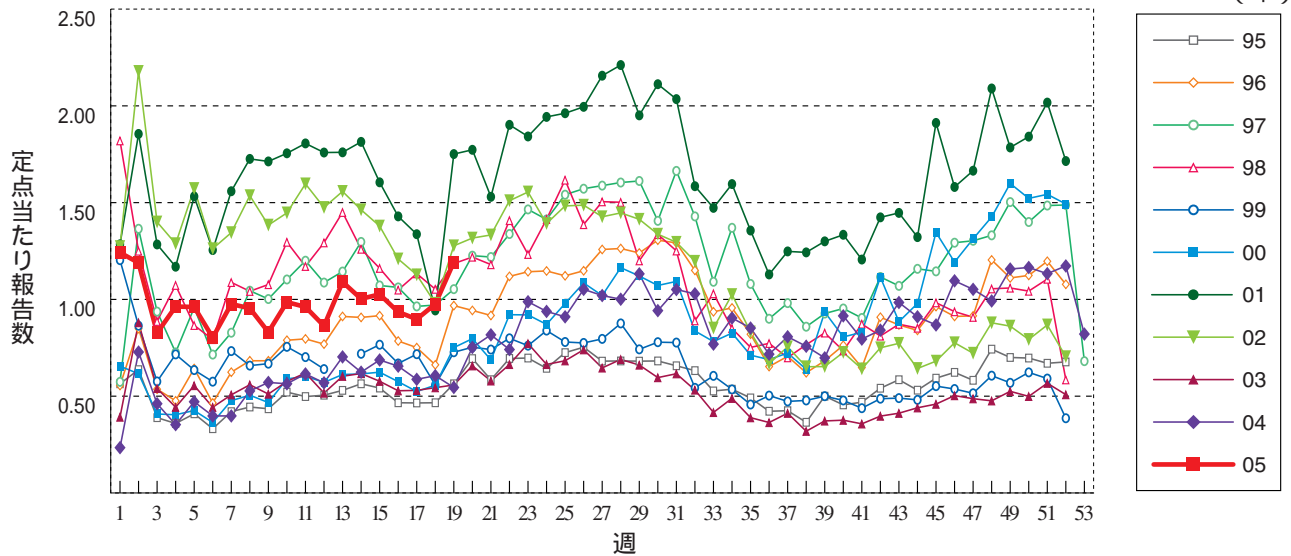
ヘルパンギーナ



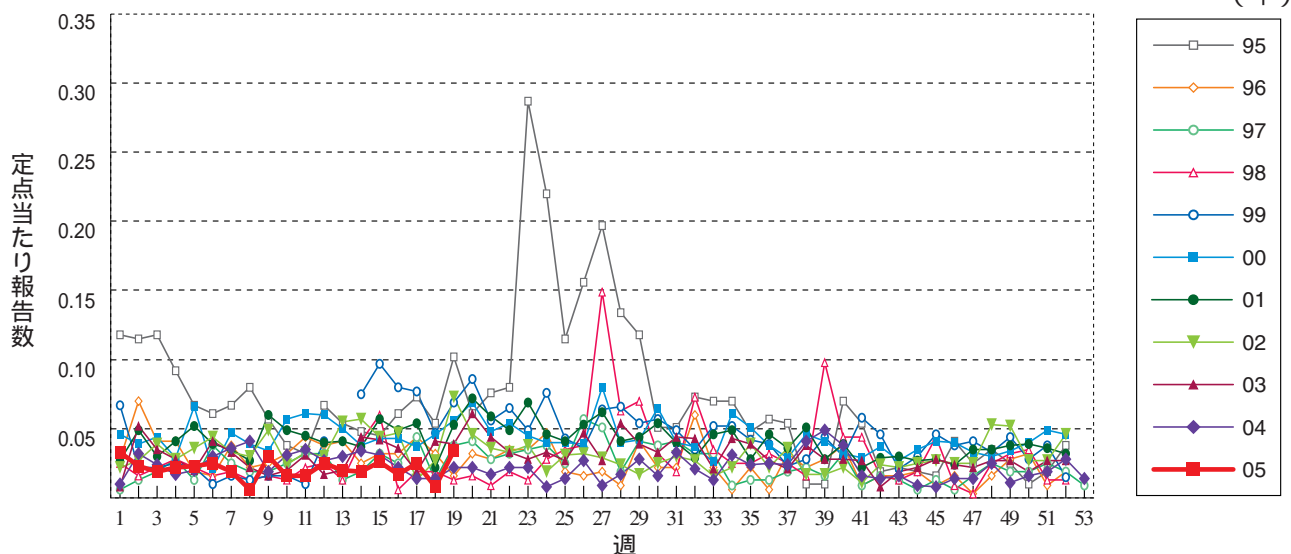
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



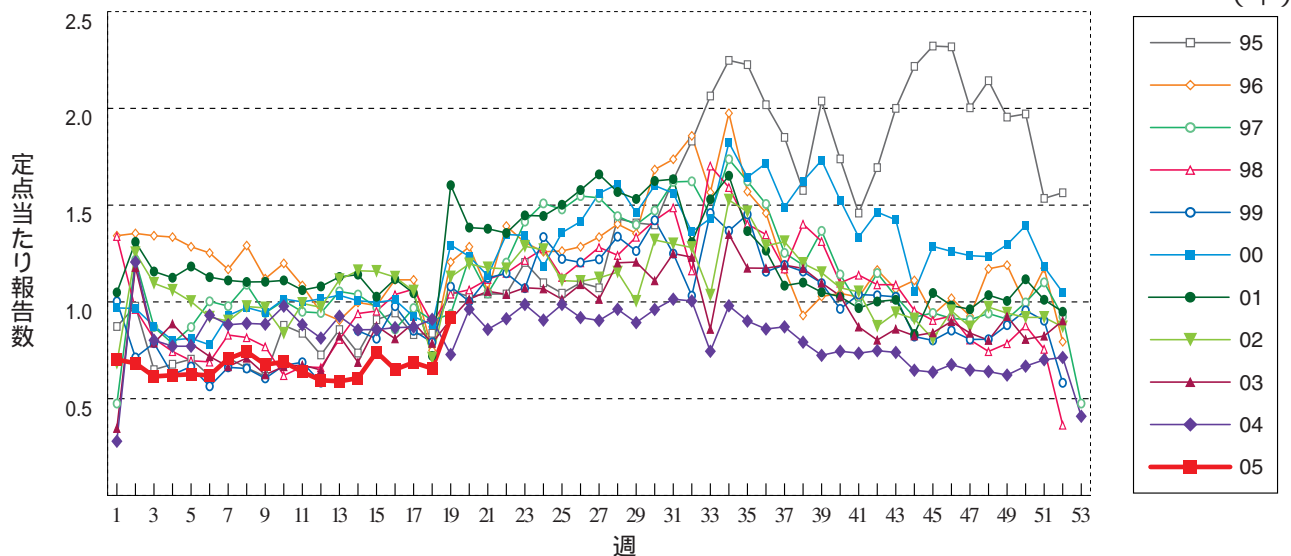
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

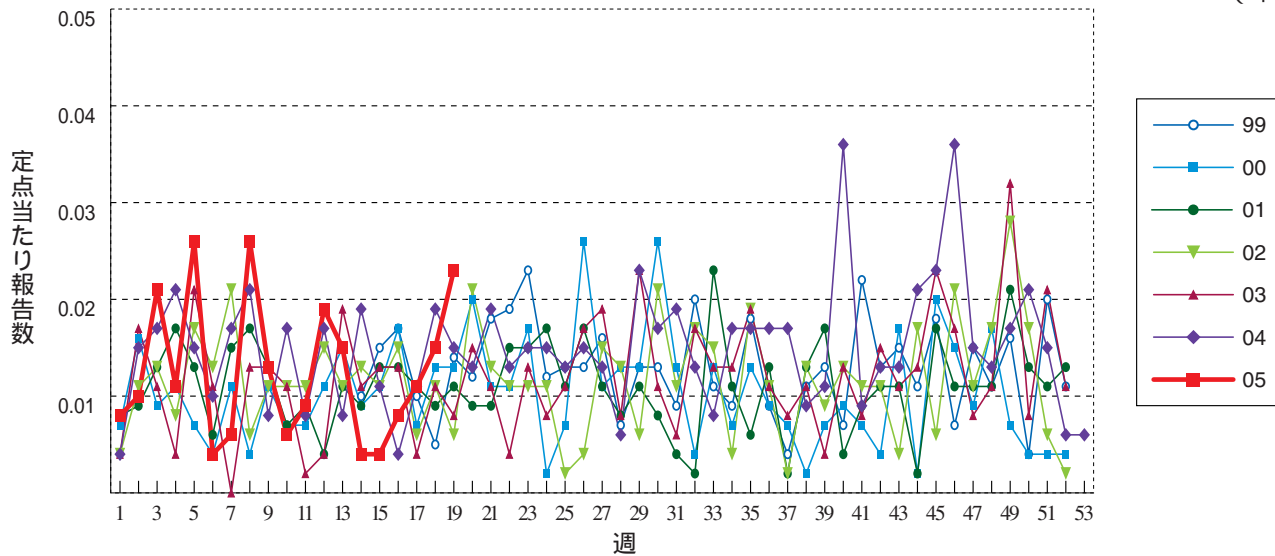


流行性角結膜炎



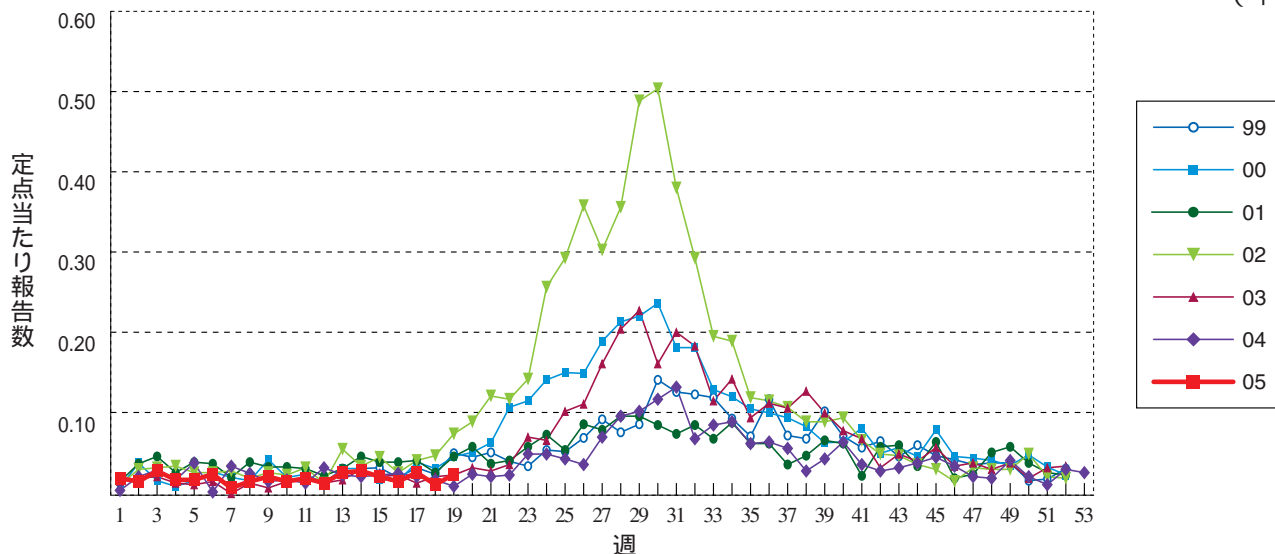
細菌性髄膜炎

(年)



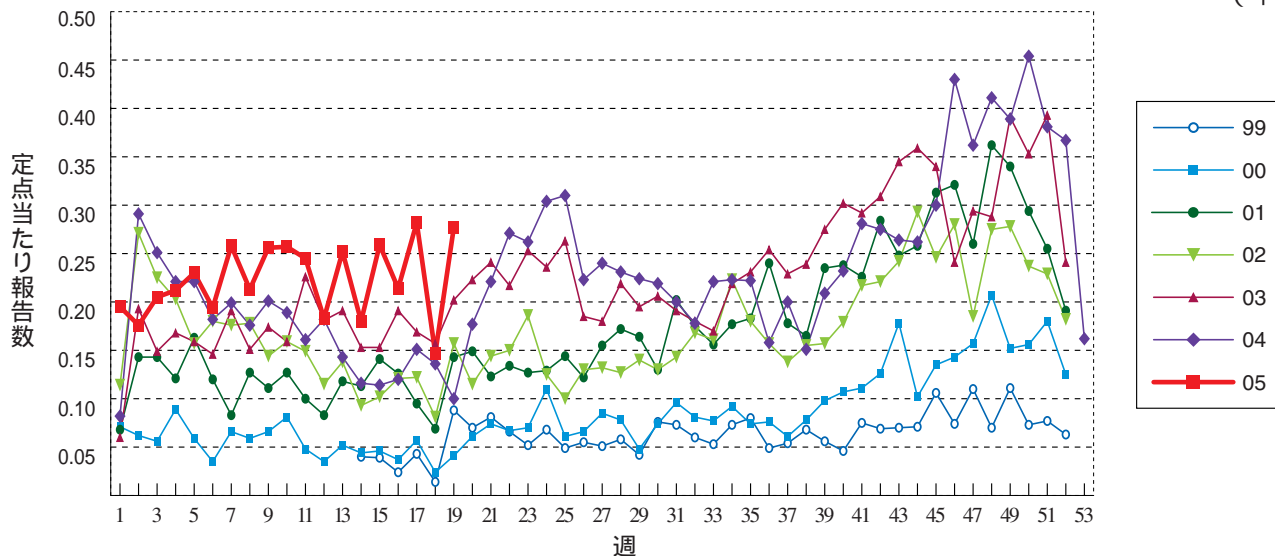
無菌性髄膜炎

(年)

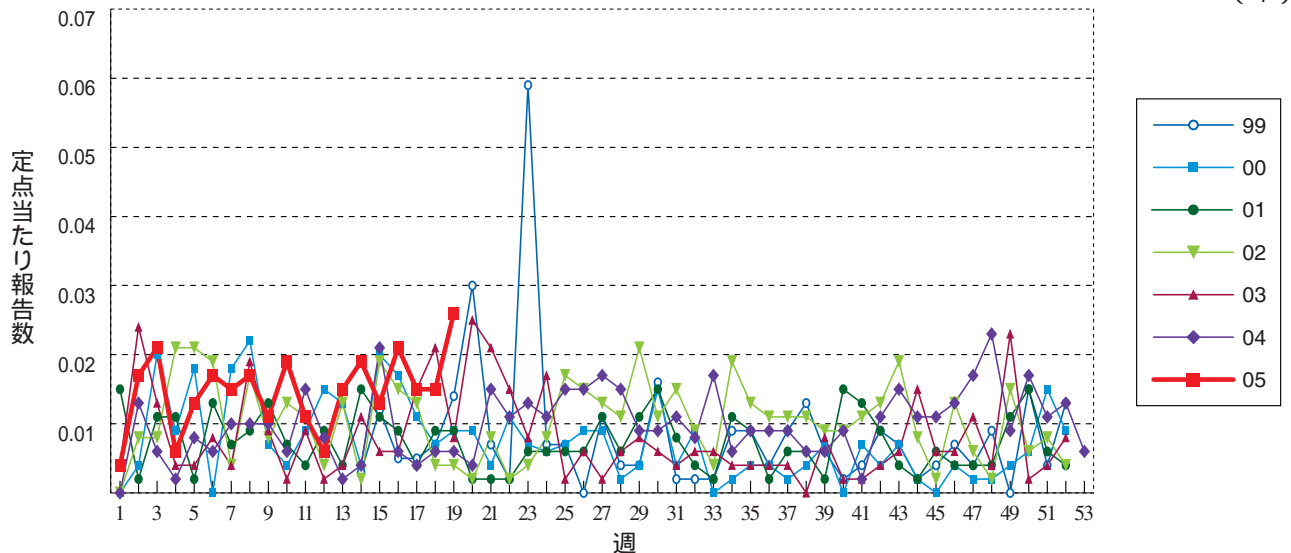


マイコプラズマ肺炎

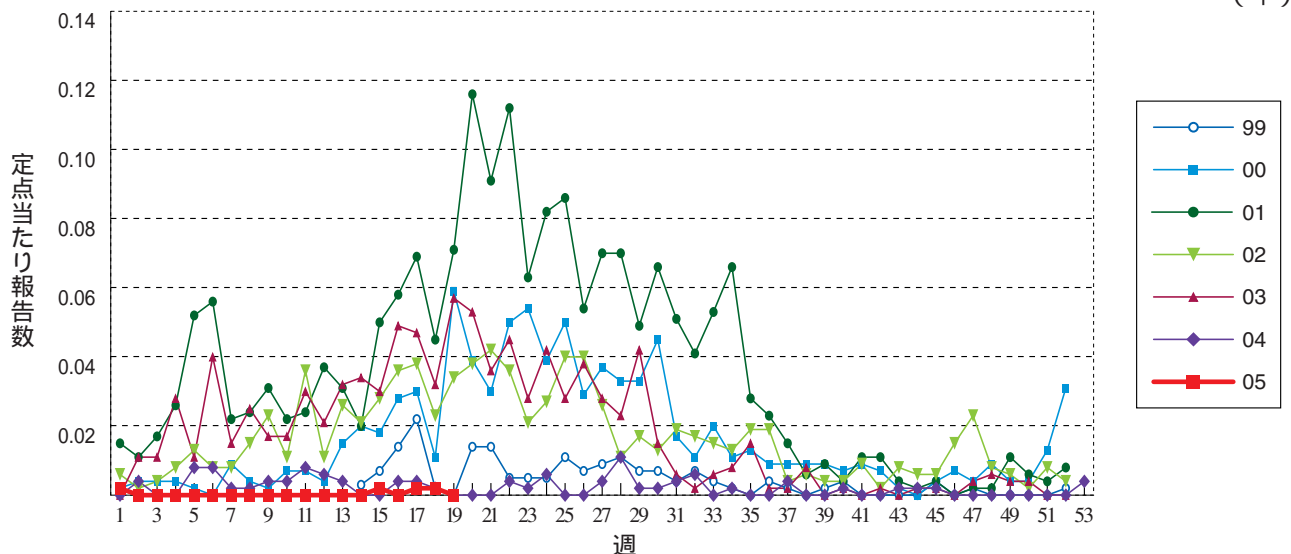
(年)



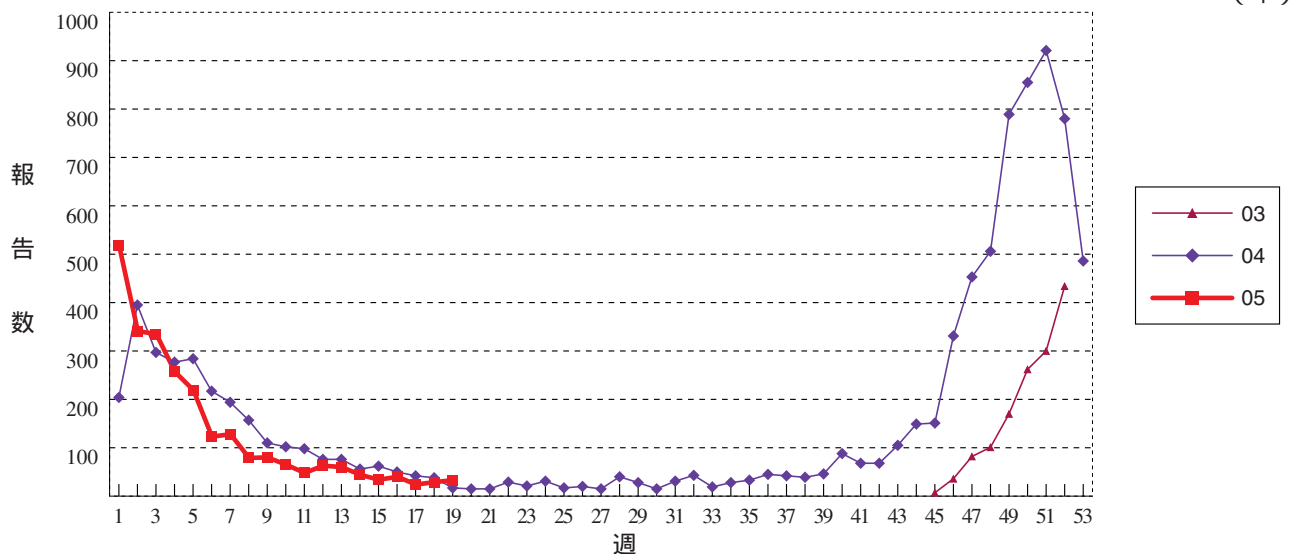
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻疹



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





19週のデータ

注)表中の報告数は5月19日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年19週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	20	16	214	-	20	-	5
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	3	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	34	-	3	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	45	-	3	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	7	30	-	3	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	14	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年19週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	23	283	5	234	1	7	-	-	1	23	-	-	2	104
北海道	-	-	-	-	1	3	-	6	1	7	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	40	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	1	3	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	4	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	11	1	59	-	-	-	-	2	-	-	-	-	17
神奈川県	-	-	-	-	-	3	-	14	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	1	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	23	1	17	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	6	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	17	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
兵庫県	-	-	-	-	-	10	1	10	-	-	-	-	6	-	-	-	1	9
奈良県	-	-	-	-	1	2	-	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	12	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	5	15	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
広島県	-	-	-	-	1	1	-	5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	7	19	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
佐賀県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年19週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	5	-	47	-	24	8	352	-	-	1	18	-	-
北海道	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	1	23	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	7	-	2	2	107	-	-	1	3	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	15	-	-	-	5	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	16	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	25	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	51	-	-	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	9	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	9	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年19週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	8	36	-	12	-	2	-	-	6	168	1	28
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-
山形県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	3	6	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	3	-	1
東京都	-	1	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	30	-	1	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	24	-	1	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	9	-	1	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	1	5	1	4	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年19週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	30	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	4	42
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
東京都	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	4
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年19週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	22	-	-	1	83	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	4	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年19週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	2	-	94	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成17年19週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3044	0.64	836	0.27	4611	1.50	16323	5.32	7127	2.32	1024	0.33	799	0.26	2069	0.67	33	0.01
北海道	538	2.35	40	0.28	419	2.89	439	3.03	324	2.23	20	0.14	15	0.10	83	0.57	1	0.01
青森県	126	1.94	8	0.19	73	1.74	144	3.43	73	1.74	11	0.26	27	0.64	15	0.36	-	-
岩手県	130	2.10	5	0.14	21	0.57	105	2.84	55	1.49	5	0.14	2	0.05	14	0.38	-	-
宮城県	67	0.68	11	0.18	96	1.57	356	5.84	90	1.48	19	0.31	21	0.34	40	0.66	-	-
秋田県	105	1.91	7	0.20	28	0.80	179	5.11	47	1.34	2	0.06	18	0.51	18	0.51	-	-
山形県	106	2.21	5	0.17	121	4.03	209	6.97	96	3.20	-	-	9	0.30	23	0.77	-	-
福島県	47	0.59	28	0.58	61	1.27	402	8.38	166	3.46	11	0.23	27	0.56	38	0.79	-	-
茨城県	14	0.12	12	0.16	109	1.47	285	3.85	139	1.88	7	0.09	11	0.15	36	0.49	-	-
栃木県	2	0.03	8	0.17	63	1.37	143	3.11	77	1.67	8	0.17	3	0.07	27	0.59	3	0.07
群馬県	9	0.09	8	0.13	77	1.24	337	5.44	115	1.85	29	0.47	2	0.03	49	0.79	3	0.05
埼玉県	24	0.09	31	0.19	316	1.94	1032	6.33	450	2.76	30	0.18	43	0.26	109	0.67	-	-
千葉県	11	0.05	20	0.15	247	1.86	531	3.99	377	2.83	24	0.18	40	0.30	98	0.74	-	-
東京都	32	0.18	27	0.19	170	1.20	684	4.82	235	1.65	17	0.12	46	0.32	82	0.58	1	0.01
神奈川県	31	0.09	55	0.27	408	1.98	960	4.66	468	2.27	29	0.14	108	0.52	167	0.81	2	0.01
新潟県	20	0.20	25	0.42	191	3.18	692	11.53	234	3.90	1	0.02	7	0.12	38	0.63	-	-
富山県	6	0.13	8	0.28	76	2.62	208	7.17	113	3.90	3	0.10	10	0.34	19	0.66	-	-
石川県	19	0.40	18	0.62	73	2.52	209	7.21	74	2.55	3	0.10	-	-	17	0.59	-	-
福井県	36	1.13	19	0.86	59	2.68	284	12.91	70	3.18	10	0.45	8	0.36	17	0.77	2	0.09
山梨県	8	0.20	-	-	27	1.08	59	2.36	32	1.28	3	0.12	10	0.40	2	0.08	-	-
長野県	69	0.78	15	0.27	76	1.38	378	6.87	109	1.98	2	0.04	11	0.20	33	0.60	1	0.02
岐阜県	65	0.77	33	0.62	38	0.72	133	2.51	148	2.79	5	0.09	2	0.04	36	0.68	-	-
静岡県	6	0.04	29	0.34	101	1.17	429	4.99	265	3.08	9	0.10	13	0.15	55	0.64	-	-
愛知県	113	0.58	66	0.36	235	1.29	676	3.71	466	2.56	48	0.26	18	0.10	127	0.70	2	0.01
三重県	67	0.92	20	0.44	59	1.31	331	7.36	109	2.42	15	0.33	13	0.29	34	0.76	1	0.02
滋賀県	50	0.98	13	0.39	29	0.88	97	2.94	72	2.18	6	0.18	2	0.06	9	0.27	1	0.03
京都府	47	0.39	2	0.03	64	0.85	401	5.35	168	2.24	7	0.09	11	0.15	25	0.33	1	0.01
大阪府	86	0.30	47	0.24	255	1.29	1161	5.86	301	1.52	76	0.38	40	0.20	126	0.64	2	0.01
兵庫県	146	0.64	67	0.45	152	1.02	1011	6.79	340	2.28	14	0.09	31	0.21	96	0.64	1	0.01
奈良県	16	0.30	12	0.35	33	0.97	188	5.53	65	1.91	11	0.32	5	0.15	14	0.41	1	0.03
和歌山県	15	0.30	1	0.03	24	0.77	161	5.19	83	2.68	11	0.35	7	0.23	28	0.90	1	0.03
鳥取県	125	4.31	4	0.21	19	1.00	175	9.21	33	1.74	16	0.84	4	0.21	18	0.95	-	-
島根県	105	2.84	8	0.35	11	0.48	122	5.30	64	2.78	9	0.39	5	0.22	21	0.91	1	0.04
岡山県	76	0.90	9	0.17	53	0.98	272	5.04	97	1.80	5	0.09	5	0.09	30	0.56	2	0.04
広島県	304	2.53	18	0.24	86	1.15	413	5.51	151	2.01	79	1.05	9	0.12	48	0.64	-	-
山口県	70	1.00	34	0.69	91	1.86	345	7.04	115	2.35	11	0.22	15	0.31	49	1.00	-	-
徳島県	24	0.63	3	0.13	12	0.52	98	4.26	23	1.00	7	0.30	2	0.09	19	0.83	-	-
香川県	33	0.65	6	0.19	38	1.19	135	4.22	68	2.13	6	0.19	3	0.09	22	0.69	2	0.06
愛媛県	19	0.31	6	0.16	32	0.86	275	7.43	64	1.73	37	1.00	6	0.16	48	1.30	-	-
高知県	7	0.14	9	0.29	63	2.03	79	2.55	67	2.16	26	0.84	6	0.19	12	0.39	1	0.03
福岡県	53	0.27	33	0.28	159	1.33	700	5.83	347	2.89	74	0.62	102	0.85	120	1.00	1	0.01
佐賀県	18	0.46	2	0.09	24	1.04	72	3.13	62	2.70	12	0.52	11	0.48	31	1.35	-	-
長崎県	4	0.06	16	0.36	35	0.80	197	4.48	99	2.25	15	0.34	7	0.16	29	0.66	-	-
熊本県	16	0.20	15	0.31	52	1.08	228	4.75	103	2.15	32	0.67	9	0.19	30	0.63	-	-
大分県	9	0.16	7	0.19	65	1.81	377	10.47	110	3.06	13	0.36	9	0.25	33	0.92	-	-
宮崎県	31	0.53	15	0.42	84	2.33	305	8.47	110	3.06	7	0.19	7	0.19	37	1.03	1	0.03
鹿児島県	16	0.17	9	0.16	60	1.07	289	5.16	146	2.61	17	0.30	39	0.70	28	0.50	1	0.02
沖縄県	123	2.12	2	0.06	26	0.76	17	0.50	107	3.15	222	6.53	-	-	19	0.56	1	0.03

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年19週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	21	0.01	1050	0.34	8	0.00	3664	1.19	22	0.03	597	0.92	11	0.02	12	0.03	130	0.28
北海道	-	-	7	0.05	-	-	150	1.03	-	-	13	0.45	-	-	-	-	1	0.04
青森県	1	0.02	3	0.07	-	-	17	0.40	-	-	5	0.45	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	3	0.08	-	-	15	0.41	-	-	17	1.42	-	-	-	-	8	0.40
宮城県	-	-	13	0.21	-	-	55	0.90	-	-	5	0.42	-	-	-	-	2	0.17
秋田県	-	-	2	0.06	-	-	20	0.57	1	0.14	5	0.71	-	-	-	-	2	0.29
山形県	-	-	11	0.37	-	-	42	1.40	-	-	2	0.25	-	-	-	-	16	1.60
福島県	-	-	9	0.19	-	-	36	0.75	1	0.08	16	1.33	-	-	-	-	9	1.29
茨城県	-	-	5	0.07	-	-	61	0.82	-	-	30	1.88	-	-	-	-	1	0.09
栃木県	-	-	19	0.41	1	0.02	22	0.48	-	-	21	1.75	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	83	1.34	-	-	46	0.74	-	-	30	2.14	-	-	-	-	7	0.70
埼玉県	2	0.01	20	0.12	2	0.01	192	1.18	2	0.05	51	1.28	1	0.11	-	-	4	0.44
千葉県	3	0.02	14	0.11	-	-	201	1.51	1	0.03	31	0.89	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.01	21	0.15	-	-	142	1.00	1	0.07	14	1.00	-	-	2	0.08	2	0.08
神奈川県	5	0.02	17	0.08	-	-	233	1.13	1	0.02	78	1.86	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	5	0.08	-	-	56	0.93	-	-	2	0.22	1	0.08	-	-	3	0.23
富山県	-	-	23	0.79	-	-	47	1.62	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	1	0.03	104	3.59	-	-	9	1.29	-	-	-	-	2	0.40
福井県	-	-	10	0.45	-	-	109	4.95	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	4	0.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	8	0.80
長野県	-	-	-	-	-	-	53	0.96	1	0.09	7	0.64	-	-	-	-	5	0.45
岐阜県	-	-	44	0.83	1	0.02	62	1.17	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	23	0.27	-	-	101	1.17	1	0.05	10	0.50	-	-	-	-	4	0.40
愛知県	1	0.01	97	0.53	-	-	184	1.01	1	0.03	29	0.83	1	0.08	2	0.15	5	0.38
三重県	-	-	22	0.49	-	-	61	1.36	-	-	7	0.58	-	-	1	0.11	2	0.22
滋賀県	-	-	-	-	-	-	28	0.85	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	9	0.12	1	0.01	73	0.97	1	0.06	3	0.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	81	0.41	1	0.01	155	0.78	-	-	19	0.37	3	0.21	-	-	6	0.43
兵庫県	1	0.01	23	0.15	-	-	104	0.70	-	-	24	0.60	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	21	0.62	-	-	65	1.91	2	0.22	2	0.22	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	2	0.06	31	1.00	-	-	47	1.52	-	-	1	0.25	-	-	-	-	4	0.36
鳥取県	-	-	2	0.11	-	-	7	0.37	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	2	0.09	-	-	12	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	1	0.02	3	0.06	-	-	46	0.85	-	-	6	0.50	1	0.20	-	-	9	1.80
広島県	1	0.01	4	0.05	-	-	168	2.24	1	0.05	27	1.35	1	0.05	1	0.05	2	0.11
山口県	-	-	3	0.06	-	-	42	0.86	-	-	11	1.22	-	-	-	-	13	1.44
徳島県	-	-	2	0.09	-	-	11	0.48	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	4	0.13	-	-	78	2.44	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	81	2.19	-	-	45	1.22	-	-	16	2.00	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	55	1.77	-	-	12	0.39	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	69	0.58	-	-	314	2.62	-	-	22	0.85	1	0.07	1	0.07	1	0.07
佐賀県	-	-	34	1.48	-	-	42	1.83	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2	0.33
長崎県	-	-	28	0.64	-	-	72	1.64	6	0.75	7	0.88	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	58	1.21	-	-	134	2.79	1	0.11	22	2.44	1	0.07	3	0.20	2	0.13
大分県	-	-	49	1.36	-	-	39	1.08	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	15	0.42	-	-	55	1.53	-	-	14	3.50	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	22	0.39	-	-	45	0.80	-	-	5	0.71	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	1	0.03	57	1.68	-	-	12	1.20	-	-	-	-	3	0.43

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年19週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	12	0.03	-	-	33
北海道	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	1
福島県	5	0.71	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.10	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	1
東京都	2	0.08	-	-	4
神奈川県	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	...
静岡県	1	0.10	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	4
兵庫県	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	1	0.08	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年19週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第7巻 第19号 平成17年5月27日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
< 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。